

# ゆるゆる箕面三七日市へ！



## 特集



市は、平成16年に「中心市街地活性化基本計画」を策定しました。平成17年には、中心市街地のまちづくり会社「箕面わいわい株式会社」が設立され、同計画の施策を具体化した事業を行うようになりました。その施策の一つに、「定期市の開催」があります。

かつて、護摩供の行われる7日には、門前に市が立つほど賑わったといわれている瀧安寺。その賑わいを復活させるため、箕面駅周辺の商店街、箕面商工会議所、箕面わいわい株式会社などが協力し、毎月7日に箕面駅周辺で行われているのが「箕面山七日市」です。

今回は、七日市にかかわっているみなさんの思いをご紹介します。

七日市...650年に役行者が創建したといわれる瀧安寺では、毎月7日（4月は15日）に護摩供が行われています。古くは、近くの農家の人たちが焚かれた護摩の灰を持ち帰り、五穀豊穡の願いを込めて田畑にまいていました。その日には、多くの人が集まり、門前市が立つほど賑わっていたといわれていて、そのことをもとに「箕面山七日市」が開催されるようになりました。



中心市街地活性化基本計画...地域の事業者やまちづくり団体、公募市民とともに平成16年12月に策定。阪急箕面線を中心に、古くから市街化が進んだ区域を中心市街地に位置づけ、中心市街地活性化のための基本的な方針や目標、推進すべき33の施策を示しています。平成17年度から平成26年度までの10年を計画期間とし、箕面駅前、桜井駅前を重点整備地区としています。



箕面の歴史を生かした  
商店活動を地道にこつこつと

花畑舜一さん

(七日市実行委員長)

瀧安寺には、これを支える山伏やまぶし講(グループ)があって、私はその講元を務めています。七日市の実行委員長になったのは、そのことも関係しています。七日市が始まってから、大護摩供のときに、駅前から滝道を40分ぐらい歩いて道場へ入る山伏の大行列も30年ぶりに復活しました。このときには近畿一円から山伏が50〜60人ぐらい集まって、それはもう壮観です。みなさんにもご覧いただきたいですね。

七日市は今年の7月で3年目に入ります。箕面駅前を中心に10商店会が集まって実行委員会をつくり、毎月7日に合わせて、独自の特典サービスや、これを盛り上げるイベントも同時に開催することから出発しました。7日に福が降りてくるということで、これに参加するお店は、7に因んで、例えばその日だけは商品を7割で売ったり、77円の特売とかさまざまな企画・サービスをしたりして取り組んでいます。



月にイベントを企画している、例えば、お客さんに無料で食べ物や飲み物を提供する「振舞い」では、これまで、甘酒、餃子、行者そばなどがありました。いずれもあつという間に準備した分が無くなります。お客さんもそれを楽しみにしてください。七日前に着てきたように感じますね。

同時に開催されるイベントも、手作り市、雑貨市などの「箕面産市」や、「陶器まつり」など、活発になってきています。また、生け花展や山野草展などと共催したり、空き店舗を活用した「わいわい亭」という落語会など、その相乗効果を期待しているいろいろなイベントを行っています。自分たちの負担にならない範囲で、個々の商店が企画することが成功の要因になっていると思います。この基本を続けることがこれらの活性化の前提になると思っています。歴史のある瀧安寺と、そこから発する七日市をみなさんに知っていただき、愛着の感じられるまちにするために、この活動を定着させてい

子どもをはじめ多くの  
人との出会いがうれしい

後藤弘友さん

(瀧道陶器まつり出店者)

陶器まつりは、七日市の中でも、大護摩供の行われる4月、7月、11月にそれぞれ2日間開催されます。朝10時から夕方4時ごろまで、約15店舗くらいが出店しています。陶器まつりといっても陶器ばかりではなく、植木や竹炭などもあり、個人の手作りの品や、工夫をしたもので、箕面ならではのこだわりの品が並びます。

私の場合は、手作りが好きで、竹や木片で作った知恵の輪や、竹炭の残りで作った携帯用のストラップ、また竹箆やざるに和紙を貼り付け、小物入れなどにする一閑張りなどを並べます。中でも一番人気は知恵の輪。見た目は簡単そうでもなかなか解けない。なぜこんなのできなのかということがおもしろいですね。



陶器まつりでは、いろんな人が集まり、いろんな出会いがあるというところがいいですね。特に、知恵の輪には子どもが集まってきて、一生懸命やります。最初は「簡単だ」とやり始めますが、そのうち「あれっ?」と考え始め、いろいろ試すうちにちよつと時間がかかって、やつと解ける。この瞬間の子どもたちの顔は何ともいえません。

今の子どもたちにはそんな好奇心をかき立てられるような機会が少ないように思います。知恵の輪はシンプルで単純ですが、引きつけるものがあるようです。そうした好奇心や解けたときの感激は大人になっても決して忘れることのない、貴重な体験になっていると思います。陶器まつりでの出店は、そんな感激を得られる機会になったらいいなという気持ちでやっています。

これからも、いろんな場面で出店したり、講座のように、みなさんに興味をもってもらい、一緒に作っていただける場を設けたりしていきたいですね。これから自由な時間が増える団塊世代のかたにも来てもらって、これだったら自分でもやれる、やってみたいなというのを一つでも見つけてもらえればと思います。



商店街の思いや考えを  
七日市に取り入れる

前田直哉さん

(箕面わいわい株式会社)



七日市は、まちづくり会社として、  
滝道の観光客が定期的に商店街に回  
遊する仕掛けとして提案しました。  
商店街の連携や個別のお店の魅力向  
上も重要なテーマです。

最初に実行委員会に提案したと  
き、商店街のみなさんも、「よし、  
やってみよう」と即座に意見が一致  
しました。それだけみなさんもま  
まった企画が必要だと思っていたん  
でしょうね。

商店街から、次の企画や、お客さ  
んが喜ぶアイデアの相談を受けるこ  
とが増えてきました。七日市を企画  
する上で、そういった商店街の思い、  
やりたいことをうまく取り入れると  
いうことを大切にしています。これ  
からも七日市にはこういいうメリッ  
トがある、その日はよく売れる、とい  
った事例が積み重なれば、これから  
参加店はもっと増えると予想してい  
ます。

今は、七日市の企画やサービスを  
充実させ、商店街で七日市のチラシ

を見た人が「今日は滝道ではこんな  
ことをやってるな」と滝道に行つた  
り、また、箕面大滝を訪れたかたが  
「商店街で何かやってるな」と商店  
街に来てくれる、そんな回遊性を持  
たせたいと考えています。発想は常  
に全国に視点をおき、「箕面といえ  
ば七日市」といわれるくらいまで育  
てるのが夢ですね。



PRしたい商品をしっかりと  
知ってもらおう機会に

秋田英幸さん

(箕面商工会議所)

全国的に中心市街地を含めた商業  
地区では、さまざまな活性化の試み  
が行われています。箕面商工会議所  
では、灌安寺を地域資源としてとら  
え、活用した取り組みを箕面わいわ  
い株式会社と連携して行っていて、  
その一つが七日市です。

参加している個店にアンケートを



取ったところ、この種のイベントは  
ぜひ必要だという回答が7割を超え  
ました。意見もたくさん書いてあつ  
て、「前もつての店紹介や宣伝をも  
っとすべき」や「自分の店も今後こ  
うやっていきたい」など、前向きな  
意見が目立ったのが特徴的でした。  
このようなアンケート結果から、商  
工会議所としても、新規に何か次の  
企画をとというよりも、関連イベン  
トを増やしながら、七日市をさらに根  
付かせていきたいと考えています。

近年、国・府の商業施策でも、各  
市町村の地域の特色を出すというこ  
とが強調されています。七日市のほ  
かにも、桜井ではエコロジーのまち  
づくりという観点から、エコロジー  
活動を商業に組み入れた試みを行つ  
ていますし、粟生、小野原では、広  
域を力パするためインターネット  
を使ったPRという取り組みを行う  
予定です。各個店が「自分のところ  
の売りはこれ」といえるものを確立  
する、一店逸品運動のようなことが  
理想ですね。七日市も、自分の店の  
PRしたい商品を、その日に限つて、  
割引するなどして、お客さんに知っ  
てもらふことにより、継続的な販売  
につなげるきっかけの場にしてほし  
いと思います。

市では、平成18年度から、箕面駅  
周辺の主な公共施設(駅前広場、第  
一駐車場、自転車駐車場など)につ  
いて、検討を行い、公募市民や商業  
者などの協力を得ながら、ワークシ  
ョップや懇話会を開催しました。こ  
の検討内容をまとめた「箕面駅周辺  
整備のあり方について(箕面駅周辺  
整備計画)」を、6月中に策定する  
予定です。今後、この計画を実現し、  
箕面の玄関口にふさわしい整備をす  
ることで、さらなる活性化をめざし  
ます。

箕面駅周辺では、七日市のほかに、  
箕面文化・交流センター地下1階の  
「みのたん」で、箕面の自然・観  
光・歴史の情報を紹介し、定期的に  
イベントも開催しています。みなさ  
ん、ぜひおこしください。

6月の七日市・主な内容  
七の福 時間：午前10時から午後  
6時 場所：箕面駅前商店・滝道沿  
道商店 約130店舗の参加店が、  
魅力的なサービスを提供します  
七日の御利益(振舞い) 時間：  
午前11時から 場所：みのお本通り  
商店街メイトビル前

箕面産市 時間：午前11時から午  
後4時 場所：滝道スパーガーデン  
入口広場  
内容は一部変更の場合あり

既成市街地活性化担当(☎72  
4・6905、☎721・990  
7)、箕面わいわい(株)(☎724・  
5151、☎721・1120)